

きくち

KIKUCHI



基本理念

この病院で最も大切なのは患者さんです

The Most Important In This Hospital is the Patient.

安心して相談できる心と脳の専門医療を目指します

人権を尊重し、患者さんが安心し、納得する精神医療・ケアを提供する
説得力のある最新の医学的根拠に基づいた治療を目指す
政策医療を中心に高度の医療サービスを提供する
高度・先駆的な精神医療を模索し、研究・教育・研修に力を入れる
自然に囲まれた落ち着いたアメニティーを提供する
地域の医療機関と協力して心の健康作りをめざす

M E N T A L
Mental Care
EBM
National Policy
Teaching
Amenity
Local Network

Contents

新年のごあいさつ	2
消防訓練を実施しました	3
病棟紹介(北病棟1階)	4
令和4年度西日本認知症高齢者対策研修を終えて	4
認知症高齢者セミナーinきくちを開催しました	5
感染対策連携施設との合同カンファレンスについて	5
第2回 作品展示会	6
NST・褥瘡対策委員会のご紹介	7
令和4年度永年勤続表彰式	7
外来診療のご案内	8

発行所：〒861-1116 熊本県合志市福原208
独立行政法人国立病院機構 菊池病院
編集発行：広報誌編集委員会



ホームページ
QRコード

卯

新年のご挨拶

令和五年

院長 渡邊 健次郎



新しい年を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症は今年で4年目になりますが、終息するめどが立ちません。当院でも昨年は、いくつかの病棟でクラスターを経験いたしました。幸い、無事に乗り切ることができましたが最近また感染症が増えてきているためにクラスターを起ささないように努めているところです。当院でも令和2年10月から精神障害の方で、軽症までの新型コロナウイルス感染症の患者様のための病床を5床確保し受け入れを行って参りました。また、昨年当院は災害拠点精神科病院として熊本県から指定を受けましたが、今後も新型コロナウイルス感染症のみならず、災害時に精神障害者の避難所としての働きや、入院受け入れができるように体制を整えてい

るところです。今年はいしぎ年です。いしぎの特徴は耳が長く、いろいろな音を聞くことができることです。今年はいしぎにアンテナを伸ばして、いろいろな方の意見を聞いて、情報を得て仕事に生かしていきたいと思います。次に、足が速くて身軽でフットワークが良いことがあります。てきぱきと柔軟に仕事をこなしていきたいと思います。我々も、いしぎを見習いながらチームワークを重視して、お互いに助け合いながら菊池病院のパワーを全開できるようにしたいと思います。いしぎの登り坂ということわざがありますが、当院もそのような年になるように皆で一丸となって取り組みたいと思います。本年も菊池病院をよろしくお願ひ申し上げます。





消防訓練を実施しました

庶務班長 大渡 浩之

令和4年11月4日（金）、当院の南2階病棟にて昼間の精神病棟での出火を想定して、当院の消防計画に基づき消防訓練を実施しました。

新型コロナ感染拡大のため、一昨年から規模を縮小して行っていましたが、今回は第7波後の落ち着いた時期ということもあり、3年ぶりに菊池消防本部西消防署職員の立会のもと、訓練の評価をしていただきました。

訓練は以下の内容で実施しました。

- ・火災発見時から状況把握、警報装置の作動、周囲への伝達。火災発生時の院内放送を受けて本部を立ち上げる等の火災発生時にかかる初動訓練。
- ・消防署へ通報し、火災の状況を伝え、消防隊の要請を行う通報訓練。
- ・消化器及び屋内消火栓による初期消火訓練。
- ・模擬患者を独歩及び担架により本部まで搬送する避難誘導訓練。

久々に外部の方を招いての訓練ということもあり、皆真剣な表情で訓練に取り組んでいました。



訓練後の講評では、概ね良い評価をいただきましたが、改善点として「通報の際は施設名に加えて住所まで伝えていただくことが望ましい」、「火元を探すことから始める等、実際の想定に近い形で訓練を行うことが望ましい」、「担架で搬送する際は、足を進行方向に向けて搬送していただきたい」等ご意見をいただきました。

その後、水消火器による消化器の取扱説明及び屋内消火栓の放水訓練を行いました。

普段から何も起こらないことが一番ですが、不測の事態にも素早く的確に対応するためにも、今回の訓練を生かし、今後も改善をしながら訓練を重ねていきたいと考えております。





看護師長 宮川 さおり

主に、精神遅滞・てんかん・自閉症を中心とした重症心身障がい児（者）の方を対象とした病棟です。自分の頭や顔を叩く、大声をあげる、食べ物以外の物を食べる、衣服を破るといった強度行動障害を持つ方が多く、その「行動」への対応は専門的な知識が必要です。

専門医の指導のもと、治療教育モデルのTEACCHプログラムを導入し、様々な支援を行っています。TEACCH（ティーチ）プログラムとは、自閉症の人たちを支援する包括的プログラムです。一事例として、長年衣服を着て就寝できなかった利用者に対し、継続した支援を行ったことで、今ではパジャマを着用し就



北病棟外観

寝することができています。多職種と共に、利用者の個性を理解することに努め、利用者が快適に過ごせるような看護・介護援助の提供に取り組んでいます。

また、モチベーションアップや良い環境づくりを目的とした「ニヤリホット」活動も行っています。現場であった思わず「ニヤリ」とした出来事や、「ホッと」心が温まった瞬間など、利用者や働く仲間同士の良いところを見つけ、感謝の言葉をカードに記入し掲示しています。褒め合うことで、笑顔と元気いっぱいの明るい病棟づくりにつながっています。



カンファレンス風景



ニヤリホットカード掲示板

令和4年度西日本認知症高齢者対策研修を終えて

教育担当看護師長 増田 佳奈

令和4年6月、10月に各3日間のWEB研修を開催しました。今年度は、延べ40名の方にご参加いただきました。本研修の目的は、老年期精神医療に関わる専門知識や技術の習得です。目的達成のため、認知症専門病棟医長や認知症看護認定看護師等の医療関係者だけ

けでなく、認知症患者の家族等、多岐にわたる講師からの講義で研修を構成しています。研修生より「内容が具体的であり、今後実践に活かせる内容であった」等のご意見をいただいております。日々の困りごとの解決や知識・技術の向上に繋げることができたと考えています。



超高齢化時代の日本では、認知症患者も増加しています。一般的に問題行動と捉えられがちな症状も、症状の“根拠”と“患者の思い”を理解した支援者が関わることで、症状が軽減し、患者や支援者が安心できる環境づくりへと繋がります。これからも、学びの支援を継続していきたいと考えています。



拠点型認知症疾患医療センターの取り組み

認知症高齢者セミナー in きくちを開催しました

精神保健福祉士 泊 三紀子

令和4年11月28日と12月12日の2回分けて当研修を開催しました。菊池市圏内の認知症高齢者に携わる行政や医療機関、施設等により総勢41名の方にご参加頂きました。

当院の認知症疾患医療センター長の塩沢医師より『認知症の基礎知識について』、認知症認定看護師の坂本副看護師長より『認知症高齢者のメンタルケアについて』具体的な事例を交えながら講義頂き、参

加者の方々と意見交換を行いました。認知症の方をケア・支援する上で、認知症を正しく知り、その方の人生や“今この瞬間”の気持ちに寄り添う大切さを、改めて振り返る研修になったと感じます。「本人主体」の考え方を理解していても、多忙な業務から「支援者主体」に陥る事があるかもしれません。普段から相手の気持ちを考え、この研修が「寄り添うケア」の一助になると嬉しく思います。



感染対策連携施設との 合同カンファレンスについて

感染管理認定看護師 上田 恭平

令和4年4月より、診療報酬上の感染対策加算が改定されました。当院は感染対策向上加算3を算定しています。国立病院機構熊本再春医療センターが感染対策向上加算1を算定する施設であり、その他の6施設で連携を行っています。定期的な合同カンファレンスと、年に1回は新興感染症を想定した訓練が必要であり、令和4年12月に行われた合同訓練ではPPEの着脱と手指衛生を行いました。災害と同じく、いつ発生するか分からない感染症についても訓練や供えが必要です。日常的にケアにあたるスタッフはPPEの着脱を実践した経験があると思いますが、非常事態に備え他職種も体験する必要があると感じました。コロナ禍で

まだまだ気が緩めない日々が続きますが、今後もカンファレンスで情報共有を行い、他職種と連携しながら感染対策に努めます。



PPEの着脱風景



第2回 作品展示会



昨年度に引き続き 10月24日～11月4日の期間で“作品展示会”を開催しました。今回も多くの病棟やデイケア利用者さんから作品を出展して頂き、病院全体が明るく活気に包まれました。

そんな素敵な作品の中から、今回受賞された方や病棟より喜びのコメントを頂きました。作品の写真とともに、是非ご覧ください。



金賞：北病棟合作「北病棟大花火大会」

昨年に引き続き、素晴らしい賞を頂くことができ大変嬉しく思います。

スタンプやインクの感触を体験して頂きながら、掲示した利用者様の笑顔や穏やかな表情から、和やかな療育活動をお伝えすることができたのではないかと思います。

療育指導室



銀賞：南病棟 2階「マリオだぜ」

作成に3ヶ月位かかった。マリオがゲームに比べてでっかいなあと思いながら作りました。思ったより人気があつて嬉しかったです。でも、どうせなら金賞を取りたかった！学生さんと一緒に作り始めて出来た作品です。また一緒に作りたいです。

やっさん



銅賞：DC「気軽に使いたい私のバック」

受賞して驚きました！嬉しかったです！
選んで頂き、有難うございました！

デイケア 制作者様



ビューティフル賞：東病棟「名古屋城」

やったあ うれしいなあ まさか
自分の作品が選ばれるなんてえ!! (^v^)

菊池 太郎



院長賞・アイデア賞：南1病棟「里の秋」

一生懸命作ったので、立派なものが作れました！
もう、こんな賞はもらえないと思います!!

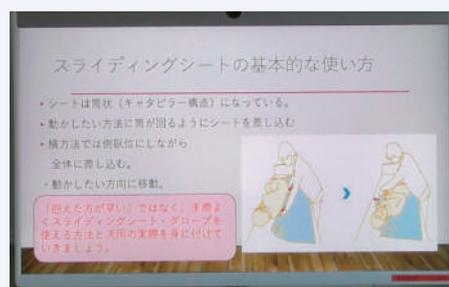
南病棟 1階 患者一同

NST・褥瘡対策委員会のご紹介

栄養管理室 池田 かおり

NST・褥瘡対策委員会では、年に数回、栄養管理や褥瘡などに関する勉強会を実施しています。当院は、精神科単科の病院ですが、認知症や重度精神障害、統合失調症など、様々な疾患の治療を担っており、栄養管理に苦慮するケースも少なくありません。栄養面で問題が生じると、本来の治療に影響する恐れがあり、知識や技術を深めることは大切と感じています。

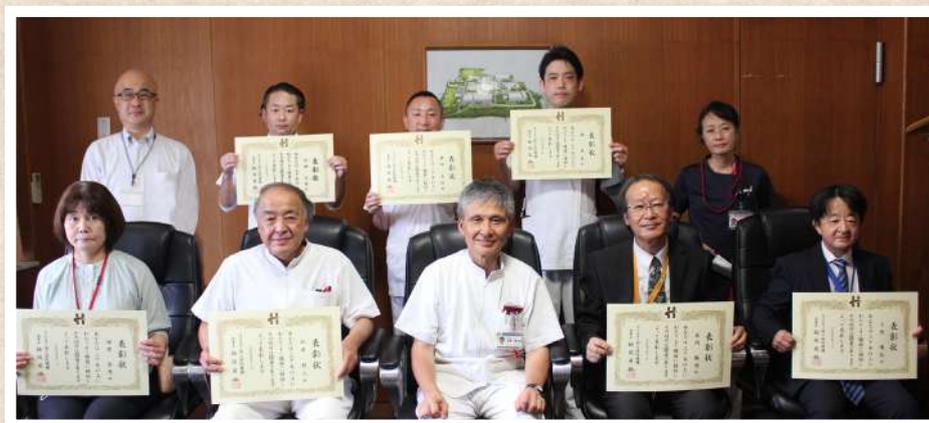
当院の勉強会の特徴として、小規模で開催しているため、質問がしやすい環境であること、実技を取り入れることで、よりイメージがしやすい勉強会となっています。また、当日参加できなかったスタッフに対しては、参加者が自部署に持ち帰り、情報共有をして知識を深めています。今後も、研鑽を重ねながら、治療の支えとなるように精進してまいります。



テーマ（一例）	担当
栄養スクリーニングについて	管理栄養士
臨床検査値の読み方	臨床検査技師
栄養と輸液	薬剤師
創に負担のかからないケア	外部講師（皮膚・排泄ケア認定看護師）

令和4年度永年勤続表彰式

当院では今年度、30年以上勤務者4名、20年以上勤務者3名の計7名の職員を表彰し、渡邊院長より賞状、記念品が授与されました。



30年 表彰

作業療法士長	塚原 宏恵	専門職	長岡 徹哉
業務班長	上原 康弘	臨床検査技師	石本 哲人

20年 表彰

看護師	森 真吾	看護師	管田 忠政
看護師	川田 大吾		

外来診療のご案内 GUIDANCE OF OUTPATIENT CARE

(令和5年2月1日現在)

項目	月	火	水	木	金
新患	田中亨		三浦 (午前)	渡邊	(渡邊)
	西尾		(西尾)		
もの忘れ 外来新患	(塩沢)	塩沢	塩沢	塩沢	
子供外来	田中恭 (再来) (午後 ※ 第1以外)		田中恭 (再来・新患) (午後)		田中恭 (再来) (午前)
再来	塩沢	木下	渡邊	坂西	田中亨
	三浦 (午後)	武市	森並	西尾	塩沢
		山下	三浦 (午後)	和田	落合
					山下 (午前)

【専門外来】

- ◆ 老年期・・・担当医：塩沢
- ◆ 物忘れ外来・・・認知症予防と認知症に対する専門外来を行っております。
- ◆ MRI 検査・・・当院にて MRI 検査を受けることができます。

【受診方法】

- ◆ 診察については予約制となっております。
- 初診の方：地域医療連携室で予約を行っております。電話番号は 096-248-2111
- 再診の方：診察後、次の診察日をご予約下さい。予約の無い方は外来に電話で予約して下さい。

【診察時間】

- 受付 8:30~15:00
- 診療 8:30~17:00
- 休診 土・日曜、祝祭日、振替休日、年末年始（12月29日~1月3日）



交通機関

- JR 豊肥本線 三里木駅下車
タクシー10分
- 熊本空港よりタクシー約20分


独立行政法人 国立病院機構 菊池病院
 〒 861 - 1116 熊本県合志市福原 208
 TEL 096 - 248 - 2111 FAX 096 - 248 - 4559
<https://kikuchi.hosp.go.jp/>